

地域県土警察常任委員会資料

(令和6年5月21日)

[件 名]

- 智頭町長選挙及び智頭町議会議員補欠選挙におけるオンライン投票立会リハーサルの結果について
【市町村課】・・・ 2ページ
- NHK 交響楽団、鳥取県文化振興財団との文化芸術振興に向けた連携協力協定の締結について
【文化政策課】・・・ 4ページ
- 鳥取県立美術館の開館前利活用等について
【美術館】・・・ 5ページ
- ローイング古田直輝選手、森卓也選手からのパリオリパラ出場報告について
【スポーツ課】・・・ 6ページ
- ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 に向けた準備・機運醸成について
【ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 実施本部事務局】・・・ 7ページ
- 青谷弥生人 2 体目の復顔像の名前募集について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・ 8ページ
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【スポーツ課】・・・ 9ページ

地域社会振興部

智頭町長選挙及び智頭町議会議員補欠選挙における オンライン投票立会リハーサルの結果について

令和6年5月21日
地域社会振興部市町村課

5月9日(木)、智頭町において、標記の選挙で導入予定のオンライン投票立会に係る公開リハーサルを実施しましたので、その概要を報告します。

1 智頭町長選挙及び智頭町議会議員補欠選挙における期日前投票所

建物内の2箇所に加え、コネクテッドカーを活用した移動式の期日前投票所を開設予定。

開設場所	開設期間	開設時間
智頭町総合センター	6月5日(水)～6月8日(土)	8時30分～20時
保険・医療・福祉総合センター「ほのぼの」	6月5日(水)～6月7日(金)	9時～13時
コネクテッドカー	6月5日(水)～6月8日(土)の4日間で町内16箇所を巡回	

※期日前投票所でのオンライン立会はコネクテッドカーでのみ実施予定(選挙期日(6/9)においても、投票所7箇所のうち1箇所(智頭町総合センター)でオンライン立会を実施予定)。

2 リハーサル概要

(1) 日時 令和6年5月9日(木) 10:30～11:15

(2) 場所 どんぐりの館(智頭町芦津244)

(3) 内容

- ・オンラインによっても投票立会人の職務が適切に行えることを確認するため、コネクテッドカー及び通信機器を使用し、実際にオンライン立会を行う環境を再現し、投票所の開所から、投票箱の空虚確認、投票、投票所・投票箱閉鎖、投票録の作成までの一連の流れを実施する。
※リハーサルでは、投票立会人は、現地(集会所)1名とオンライン(智頭町役場会議室)1名の計2名とした。
※コネクテッドカーには、5G 対応の開域網及びインターネット網と接続可能なモバイルWi-Fiルーターが搭載され、住基システム等へのアクセスが可能で、行政事務の受付をはじめ、様々なサービス提供が可能となっている。
- ・令和6年4月26日付総務省自治行政局選挙部選挙課長通知「投票所におけるオンラインによる立会について」(以下「総務省通知」という。)における技術的助言(※)を踏まえ、投票所の運営体制等を整備する。
※投票所全体の様子を把握できること、何人にも干渉されるおそれのない場所であること、双方向の意思疎通ができること 等



コネクテッドカー



コネクテッドカー内部



オンラインによる投票立会人

3 リハーサル結果

- ・通信遮断などのトラブル対応も含め、オンラインによる投票立会人が、通常の投票立会人と同様、適正にその役割及び職務を行えることを確認した。
- ・選挙実務に精通し、全国の選挙管理委員会等に助言・指導を行っている一般社団法人選挙制度実務研究会(東京都)の小島勇人理事長に立ち会っていただき、総務省通知の内容を含め、適正にオンラインによる立会がなされている旨評価いただいた。

4 今後の予定

- ・選挙本番に向け、智頭町選挙管理委員会との調整を進める(県のバックアップ体制等)。
- ・オンラインによる投票立会の導入を予定する他の市町村とも、実施に向けた調整を進めていく。



リハーサル(知事挨拶)



リハーサル(トラブル対応)



小島理事長による講評

総務省通知の概要

●令和6年4月26日付総務省自治行政局選挙部選挙課長通知「投票所におけるオンラインによる立会いについて」により、オンラインによる立会を検討するに当たっては、公職選挙法等に規定されている投票立会人の役割及び職務に支障が生じることがないように、以下の事項を踏まえて検討するよう、総務省から技術的助言が示されました。

- 1 投票事務の執行を監視することにより、選挙人の自由な意思によって投票できる環境を確保するという投票立会人の役割を確実に果たすためには、少なくとも1人は投票立会人が投票所内に所在し、現に立ち会うことが必要であること。
- 2 投票立会人は、選挙の公正確保を目的として、投票所内の投票手続全般に立ち会うことにより投票事務の執行を監視する役割があるため、オンラインによる投票立会人は、投票管理者、投票事務従事者及び他の投票立会人、選挙人を含む投票所全体の様子を把握できるようにすること。
- 3 投票立会人は、投票管理者の下、何人にも干渉されず独立した立場において、投票事務の執行を監視する役割があるため、オンラインによる投票立会人は、選挙管理委員会が確保した何人にも干渉されるおそれのない場所（市町村の庁舎内会議室など）に所在し、その場所において何人にも干渉されることなく投票所を開いてから投票箱を閉鎖するまでの投票手続に立ち会うこと。また、投票に関する事務全般の責任者である投票管理者及び他の投票立会人において、オンラインによる投票立会人が、何人にも干渉されずに職務を遂行している状況を確認できるようにすること。
- 4 投票立会人は、投票手続において、投票管理者に意見を述べる役割があるため、投票管理者とオンラインによる投票立会人との間で円滑に双方向の意思疎通ができるようにしておくこと。
- 5 投票立会人の全てが行うこととなっている投票録への署名について、適切に実施できるようにすること。また、投票立会人の一部が行うこととなっている投票箱の鍵の保管及び投票箱の開票所への送致については、投票所内に所在している投票立会人が、投票管理者とともに速やかに行うこと。
- 6 通信遮断等が生じた場合に法定の投票立会人の人数を欠くことにならないよう、速やかに別の投票立会人を選任できるようにしておくこと。

NHK交響楽団、鳥取県文化振興財団との文化芸術振興に向けた連携協力協定の締結について

令和6年5月21日
文化政策課

音楽芸術をはじめとする文化芸術の振興を推進するため、鳥取県、公益財団法人NHK交響楽団、公益財団法人鳥取県文化振興財団の3者による連携協力協定を締結しました。

1 協定締結式

- ・日 時 令和6年4月22日 午後3時～3時20分
- ・会 場 とりぎん文化会館 1階 フリースペース
- ・出席者 公益財団法人NHK交響楽団 理事長 今村 啓一
公益財団法人鳥取県文化振興財団 理事長 山本 仁志
鳥取県知事 平井 伸治



2 協定の概要

NHK交響楽団芸術主幹：西川彰一氏（鳥取県出身）を鳥取県文化振興財団がプロデュースする室内合奏団「とっとりチェンバーオーケストラ」のプランニング・アドバイザーに起用する等、従来より連携して音楽文化の振興に取り組んできた実績を踏まえ、県、県文化振興財団及びNHK交響楽団の3者の協力の下、地域の芸術振興や次世代育成に向けた新たな取組を進めることとして、全国で初めての連携協力協定締結に合意した。

(1) 目的

鳥取県、NHK交響楽団、県文化振興財団が相互に連携協力し、芸術鑑賞や人材育成等の取組を実施することによって、音楽芸術はじめ本県の文化芸術の活性化・向上を図ると共に、心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与する。

(2) 協定期間

令和6年4月22日から令和7年3月31日（※協定団体に解約の意思がない限り、1年毎に自動更新）

(3) 連携協力事項

- ・優れた実演芸術の鑑賞の場の提供
- ・質の高い実演芸術の創造
- ・実演芸術のすそ野の拡大と人材育成
- ・地域全体の文化芸術活動の活性化と向上

3 今後の主な取組予定

(1) 優れた実演芸術の鑑賞の場の提供

- ・NHK交響楽団による公演機会の増加（概ね3年に1回の開催から隔年開催へ拡大）
⇒令和6年7月30日（火）「N響ほっとコンサート in 鳥取」（とりぎん文化会館梨花ホール）
- ・高校生に優れた芸術の鑑賞機会を提供する「芸術鑑賞教室」への楽団員派遣

(2) 質の高い実演芸術の創造

- ・とっとりチェンバーオーケストラの充実・向上に向けた活動監修及び演奏会への楽団員派遣

(3) 実演芸術のすそ野の拡大と人材育成

- ・県内の若手演奏者等に対して演奏技術や取組姿勢等を指導するクリニックへの楽団員派遣
- ・学校や教室等における指導者を対象とした研修会への楽団員派遣

(4) 地域全体の文化芸術活動の活性化と向上

- ・市町村と連携し、身近な場所で一流の演奏を届けるプログラムへの楽団員派遣
⇒令和6年10月27日（日）とっとりチェンバーオーケストラと楽団員のアンサンブルコンサート（江府町）
- ・文化芸術と地域・社会を繋げるアートマネジメント研修への楽団員派遣

鳥取県立美術館活用推進協議会(4月7日開催)で御意見をいただいていた開館前の利活用について、イベントやレセプションなどのユニークベニュー(通常、美術館では体験できない会場利用)等、開館後の利用や誘客促進につながる取組のアイデア募集を開始しました。

また、開館までの間にも県民の皆様に親しまれる美術館とするため、毎月1回の一般県民向け建物内覧会を開催していますので報告します。

1 鳥取県立美術館開館前利活用アイデア募集の開始

(1) 募集期間 令和6年5月14日(火)から10月31日(木)まで

(2) 募集内容 以下活用案を含めた県立美術館の館内外を活用した取組を募集する。
利用可能なアイデアは実施していただく。

【活用案】

- ・県立美術館の取組や所蔵作品、企画展等を知るための説明会や研修、講演会
- ・開館後の美術館での活動につながる各種団体等による会議、研修会
- ・ひろまでの書道パフォーマンス、演奏や合唱の発表会
- ・建物やウェディングの前撮り等の写真撮影会
- ・ひろま、えんがわ、テラスでの飲食を伴うレセプションやパーティー(強い匂いや煙が出るものを除く)

(3) 利用時間 原則、平日午前9時から午後5時 ※利活用の内容により休日、夜間利用は可能

(4) 利用料金 条例に基づき徴収(6円/m²・h) ※規定に基づく減免あり

【1時間あたりの使用料(例)】

利用場所	面積	使用料	冷暖房加算	合計
(1階) ひろま	195m ²	1,170円	362円	1,532円
(1階) ホール	106m ²	636円	197円	833円
(3階) 展望テラス	80m ²	480円	-	480円

2 毎月15日 県民向け建物内覧会の開催

(1) 実施日時

5月から来年2月までの毎月15日 午前10時から11時までと午後2時から3時まで(概ね1時間)

(2) 主な見学先

1階 県民ギャラリー、ショップ、カフェ、ひろま

2階 コレクションギャラリー、テラス

3階 企画展示室、展望テラス ほか

※バックヤードや屋上の見学は行いません。
※開館前の業務等の都合により変更・休止する場合があります。

(3) 参加方法

電話申込み(実施日の2日前まで) 鳥取県地域社会振興部美術館 0858-47-3011

(鳥取県立美術館ウェブサイトでのご案内 <https://tottori-moa.jp/news/6411/>)

(4) 第1回(5月15日)の開催状況

設計を担当した楨総合計画事務所の担当者から説明(午前の部40名、午後の部41名参加)



1階ひろまから2階へ



2階 コレクションギャラリー3



3階 企画展示室



3階 展望テラス

3 貸館利用現地説明会等の開催

鳥取県立美術館貸館利用現地説明会 (鳥取県立美術館ウェブサイト https://tottori-moa.jp/news/5855/)	4月21日(日)、5月15日(水)ほか 計6回
鳥取県立美術館ボランティア TMOA+(ティモアプラス) 説明会 (鳥取県立美術館ウェブサイト https://tottori-moa.jp/news/6132/)	6月2日(日)、6月5日(水)ほか 計10回
対話鑑賞ファシリテーター養成研修 (鳥取県立美術館ウェブサイト https://tottori-moa.jp/news/6288/)	4月21日(土)、5月18日(土) ※さらに県立博物館会場での研修あり

ローイング古田直輝選手、森卓也選手からのパリオリパラ出場報告について

令和6年5月21日
スポーツ課

4月21日に韓国で開催されたパリオリパラアジア・オセアニア大陸予選において、南部町出身の古田直輝（ふるたなおき）選手がローイング競技・男子軽量級ダブルスカルで、米子市在住の森卓也（もりたくや）選手がパラローイング競技・男子シングルスカルで優勝し、パリオリンピック・パラリンピック出場が内定しました。これを祝し、両選手からの報告及び平井知事や関係者からの激励等を行いました。

- 1 日時 令和6年5月3日（金・祝）
- 2 場所 県立米子艇庫（米子市西町133-1）
- 3 出席者 古田 直輝／男子軽量級ダブルスカル選手（NTT東日本）
森 卓也／パラローイング男子シングルスカル選手（養和会）
杉村 正男／鳥取県ローイング協会会長
山崎 嘉彦／（公財）鳥取県スポーツ協会専務理事
後藤 裕明／（一社）鳥取県障がい者スポーツ協会会長
平井 伸治／鳥取県知事
※ジュニアローイング選手等約30名が参加



古田選手：米子工業高校ボート部でインターハイ優勝、国体などで数々の実績を残した。「精神面や体調などを整えて、錦海から金メダルを目指して頑張ります。」



森選手：砲丸投げからローイングに転向し、悲願のパリパラ出場を決めた。「パリで戦う相手は皆20代30代だが、50歳でもやれることを見せたい。」

4 内容

- ・杉村会長から大会結果の概況報告
- ・古田選手、森選手からの大会結果報告、パリオリパラへの意気込み披露
- ・平井知事からの激励、花束贈呈
- ・ジュニア代表「宇田悠生（うだ ゆう）選手（米子工高3年）」からの激励
- ・応援横断幕の披露

▼当日の出席者及び参加者全員とともにパリでの活躍を誓った両選手



5 パリオリンピック（7/26～8/11）・パラリンピック（8/28～9/8）

<両選手のパリでの競技日程>

○古田直輝選手が出場する男子軽量級シングルスカル

競技日程 ▶ 7/28～8/2（予選（7/28）、敗者復活戦（7/29）、準決勝（7/31）、決勝（8/2））

○森卓也選手が出場するパラローイング男子シングルスカル

競技日程 ▶ 8/30～9/1（詳細なスケジュールは未定ですが、9/1に決勝及び表彰式の予定）

※パリ中心部の東20kmに位置する「ヴェール・シュル・マルヌ・ノーティカル・スタジアム」で実施

ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 に向けた準備・機運醸成について

令和6年5月21日
ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 実施本部事務局

本年10月に開催される「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」(以下「大会」という。)に向けた準備及び機運醸成の取組について報告する。

1 大会昼食弁当のお披露目

大会会期中に参加選手団へ提供する昼食弁当の仕様が決定したことを受け、4月22日(月)にこの弁当の開発に携わった代表者を招き、お披露目を行った。献立には「かに」等の本県ならではの食材を使用し、「大山おこわ」等の郷土料理も盛り込み、また弁当箱装飾用掛け紙のデザインは、鳥取短期大学生活学科住居・デザイン専攻の学生が手掛けるなど、鳥取の魅力伝える弁当が完成した。

出席者:鳥取県調理師連合会会長代行 秦 徹好(はだ てつよし)氏

鳥取短期大学住居・デザイン専攻 教授 前田夏樹(まえだ なつき)氏、学生 戸村巴月(とむら はづき)氏

鳥取県知事 平井伸治 ※弁当の仕様詳細は別添資料参照



2 全市町村リレーイベント実施について

県内における大会開催機運の醸成を図るため、愛媛県から引き継いだ大会旗を市町村にバトンとしてつなぐ「全市町村リレーイベント」を市町において開催された地域イベントに併せて実施し、大会のPRを行った。

- ① 琴浦町 日 時:令和6年4月24日(水)
場 所:東伯総合運動公園(東伯総合運動公園クリーンアップ活動)
出席者:福本 まり子町長、(県)盛田 聖一地域社会振興部長
- ② 米子市 日 時:令和6年4月28日(日)
場 所:米子産業体育館(第4回全国ダンススポーツ競技会鳥取大会)
出席者:伊木 隆司市長、(県)池上 祥子統轄監
- ③ 鳥取市 日 時:令和6年4月29日(祝・月)
場 所:若桜街道(鳥取市花のまつり)
出席者:深澤 義彦市長、(県)池上 祥子統轄監
- ④ 八頭町 日 時:令和6年4月29日(祝・月)
場 所:船岡竹林公園(ふなおか竹林公園まつり)
出席者:吉田 英人町長、(県)池上 祥子統轄監
- ⑤ 岩美町 日 時:令和6年5月12日(日)
場 所:岩美北小学校(浦富海岸健康マラソン)
出席者:長戸 清町長、(県)池上 祥子統轄監



4.24 琴浦町



4.29 八頭町

3 大会に向けた企業協賛について

県内の企業・団体より大会協賛金等を御提供いただいたことを受けて、県大会実行委員会から協賛各社へ感謝状を贈呈した。

(協賛金)

- ① 鳥取信用金庫 (協賛金額:50万円)
日 時:令和6年4月26日(金) 10時00分~10時15分 場 所:県庁地域社会振興部長室
出席者:理事長 田村 博信(たむら ひろのぶ)氏、人事研修課長 谷口 貴紀(たにくち たかのり)氏
- ② 学校法人藤田学園 (協賛金額:50万円)
日 時:令和6年5月8日(水) 10時30分~10時45分 場 所:県庁地域社会振興部長室
出席者:理事長 山田 修平(やまだ しゅうへい)氏、事務局長 岩本 彰(いわもと あきら)氏
- ③ 株式会社ミヨシ産業 (協賛金額:50万円)
日 時:令和6年5月14日(火) 10時30分~10時45分 場 所:同社本社(米子市)
出席者:代表取締役社長 谷野 利宏(たにの としひろ)氏
- ④ 株式会社大協組 (協賛金額:100万円)
日 時:令和6年5月14日(火) 11時30分~11時45分 場 所:同社本社(米子市)
出席者:代表取締役 小山 典久(こやま のりひさ)氏、総務部長 福浦 俊成(ふくうら としなり)氏

(協賛車両)

鳥取ダイハツ販売株式会社 (ダイハツ「タント」ラッピング車貸与)

日 時:令和6年5月8日(水) 13時00分~13時15分
出席者:代表取締役社長 砂川 栄雄(すなかわ まさかつ)氏
理事 橋本 功(はしもと いさお)氏
直販部係長 鳥飼 弘志(とりかい ひろし)氏



青谷弥生人2体目復顔像の名前募集について

令和6年5月21日
とっとり弥生の王国推進課

青谷上寺地遺跡から出土した人骨をもとに復元した2体目の復顔像については、青谷かみじち史跡公園の開園を機に展示ガイダンス施設「YAYOINE(やよいーね)」において公開しているところですが、このたび次のとおり、この復顔像にふさわしい名前の募集を開始したので報告します。

1 目的

青谷かみじち史跡公園の開園を機に公開した2体目の復顔像の名前を公募し名付けることで、「青谷上寺朗(あおや かみじろう)」同様に愛着を持っていただくとともに、史跡公園へ誘い、弥生時代や青谷上寺地遺跡への理解と関心を深めていただくきっかけとする。



展示中の名付け対象の復顔像(左)と青谷上寺朗(右)

2 名付けの対象

約1,800年前に、青谷上寺地遺跡に暮らしていた少年(10代前半の男性)の復顔像

3 募集する名前のコンセプト

- ・青谷上寺地遺跡に暮らしていた少年としてふさわしい名前
- ・1体目の復顔像「青谷上寺朗」と合わせて違和感のない名前

4 応募方法

「名前(ふりがな)」及び「名付けの理由や意味(最大100字程度)」等を記載いただき、以下の方法で応募いただいています。

- ・県ホームページ(とっとり電子申請サービス)
- ・展示ガイダンス施設「YAYOINE(やよいーね)」に設置している応募箱への投函
- ・青谷かみじち史跡公園への郵送

5 募集期間

令和6年4月27日(土)～6月30日(日)

6 審査及び結果発表

令和6年7月下旬に公表予定

7 最優秀賞への賞品

鳥取県産天然岩ガキ「夏輝」(青谷弥生人も食べていた夏のご馳走)

8 関連イベント

8月4日(YAYOINE(やよいーね)の日)に、名付けに関連したイベントを実施予定。

※その他(GW期間における青谷かみじち史跡公園及びむきばんだ史跡公園の来園状況)

○青谷かみじち史跡公園

4月27日(土)から5月6日(月)にかけて「ゴールデンウィークはYAYOINE(やよいーね)で楽しいね!!」と称して、火おこしトーナメントや弥生体験(鏡の鋳造体験、勾玉づくり等)を実施。イベント期間中の来園者数は2,610人。



○むきばんだ史跡公園

5月3日(金)から5月5日(日)にかけて「GWは、むきばんだ日和-トリドリむきばんだ-」として、ティラノサウルス捕獲作戦(スマホを使って、弥生人に扮した参加者等と知恵比べ)、火おこし、発掘体験、ポニー乗馬体験などを実施。イベント期間中の来園者数は2,310人。



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

地域社会振興部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	摘 要
スポーツ課	障がい者体育センター耐震改修 ほか工事	鳥取市 湖山町西	大和建设株式会社 取締役社長 影井 一清	176,000,000円 (予定価格) 191,950,000円	令和6年4月3日 ～ 令和7年2月28日	令和6年4月3日	制限付 一般競争入札 (5社)